

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	観光ビジネス論（Tourism Business）		
ナンバリングコード	E21406	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E046651	クラス名	-
担当教員名	後藤 厳寛		
履修上の注意、 履修条件	先ずは出席、次に授業への参加態度を重要視します。 講義冒頭に「前回講義の振り返りクイズ」、最後に次回講義に関連する課題を出します。		
教科書	適宜指定します（事前に電子ファイル配布の場合あり）。		
参考文献及び指定図書	・観光マネジメント（千倉書房、2022年） ・観光経営学入門（建帛社、2024年） ・観光ビジネス未来白書：統計に見る実態・分析から見える未来戦略（同友館、2024年版） ・新しい観光学 観光とリゾート、そしてオルタナティブ・ツーリズム		
関連科目	観光学入門、社会科学入門、社会調査法、地域ブランド論、地域イノベーション論、フィールド・スタディ（地域マネジメント）ほか		

○基本情報		
授業の目的	本講義は将来、観光ビジネスや観光業をはじめ、地域づくりや観光政策などの分野に寄与するとともに、観光産業界での活躍を通じて、社会の持続的な発展に貢献する高度人材の育成を目的としています。	
授業の概要	本講義では、「観光」と「ツーリズム」分野におけるビジネス展開について、具体的な事例を紹介しながら解説します。観光ビジネスの学習とともに、地域発展の考え方などについても紹介し、自然資源や文化資源などの評価や付加価値づけに必要な視点が身につく授業です。地域交流・地域再生、まちづくりといった観光ビジネスだけでなく、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資や、企業CSR（社会貢献）活動にも通じる知識と知見について学びます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	国連関連機関や国際NGO、新聞社での海外勤務をはじめ、農林水産省や山梨県の研究機関を経て佐賀県（農林水産商工本部）幹部職員との兼務で、(独)中小企業基盤整備機構の地域活性化支援アドバイザー（新連携事業）、(一財)九州産業技術センターのコーディネーター（九州成長戦略事業創出推進事業）ほか多種多様な実務経験あり	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	「観光」「ツーリズム」におけるビジネス展開について、興味関心を持ち、課題に意欲的に取り組むことができる。	10点	10点	5点
【知識・理解】	「観光ビジネス」とは具体的に何なのかを理解し、知識と事例を以って他者に説明できる。	10点	10点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	「観光ビジネス」とは何なのか、知識と事例を以って他者へ明瞭かつ簡潔に解説できる。	10点	10点	5点
【思考・判断・創造】	日本の観光政策、および国内世界遺産の課題点について、自分なりの考えを持ち、解決策を提案することができる。	10点	10点	5点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）	
①中間試験と期末試験(エッセイ・小論文)の結果、②講義冒頭の「振り返りクイズ」、③講義中の参加態度(発言や質問など)、ならびに④課題レポート(宿題)の4項目によって総合評価します。	

○その他	
■ 課題・質問等の受付方法 ・課題の遣り取りには、Google Classroomを使用します。 ・質問や相談、不明な点がある場合は、メールで問い合わせるか、オフィスアワーを確認し、19号館4階の後藤研究室まで尋ねに来てください。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	観光ビジネス論（Tourism Business）	授業コード	E046651
		担当教員	後藤 厳寛		
学修内容					
1. 「観光ビジネス」とは何かを理解する					
観光と何か、観光の定義や「旅」と「旅行」の違い、「レジャー」と「レクリエーション」と「観光」について考えます。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
2. 観光ビジネスが成立するための条件					
観光ビジネスが成立するための条件や、観光産業による効果と影響について、解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
3. 観光ビジネス、観光産業界の概要					
観光ビジネス、観光産業界の概要と歴史について、解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
4. 観光ビジネスの歴史(1)					
観光資源、観光産業とは何かを考えるとともに、観光ビジネスの歴史について、解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
5. 観光ビジネスの歴史(2)					
日本国内、海外における観光産業界の傾向について、解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
6. 観光地の現状と課題(1)					
国内外の観光産業界や観光地の現状と課題について、全体像を把握しながら理解を深めます。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
7. 観光地の現状と課題(2)					
景観価値を損ねる太陽光パネルや大型風車など再生可能エネルギー問題と、風光明媚な景観保全といった具体事例の紹介とともに問題点を解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
8. 九州地方の観光ビジネスの歴史と傾向(1)					
九州地方の地形やランドスケープ特性から読み解く、観光ビジネスの背景と歴史について、理解を深めます。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間

○授業計画		科 目 名	観光ビジネス論（Tourism Business）	授業コード	E046651
		担当教員	後藤 厳寛		
学修内容					
9. 九州地方の観光ビジネスの歴史と傾向（2）					
九州地方を代表する観光地の特性把握と、代表的な観光ビジネスの実態を把握します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
10. 九州地方の観光ビジネスの可能性（1）					
九州地方の交通インフラの状況把握とともに、コア（核）となる都市や農村の観光資源について理解を深めます。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
11. 九州地方の観光ビジネスの可能性（2）					
九州地方の都市部の観光資源について理解を深め、新たな観光ビジネス展開の可能性について解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
12. 九州地方の観光ビジネスの可能性（3）					
九州地方の農山漁村の観光資源について理解を深め、新たな観光ビジネス展開の可能性について解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
13. 観光ビジネスの新たな展開（1）					
観光ビジネスの新たな展開について、解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
14. 観光ビジネスの新たな展開（2）					
九州地方を例に、国内観光ビジネスの新たな展開について、解説します。					
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
15. まとめ					
今学期の講義を通じて学んだことを復習します。					
予習	これまでの配布資料を取りまとめて、重要なことを切り出しておく				約2時間
復習	配布資料を熟読する				約2時間
16. 期末試験(エッセイ・小論文)					
これまでの講義内容について、その理解を確認するための記述式試験を実施します。					
予習	これまでの配布資料を取りまとめて、重要なことを切り出しておく				約2時間
復習					